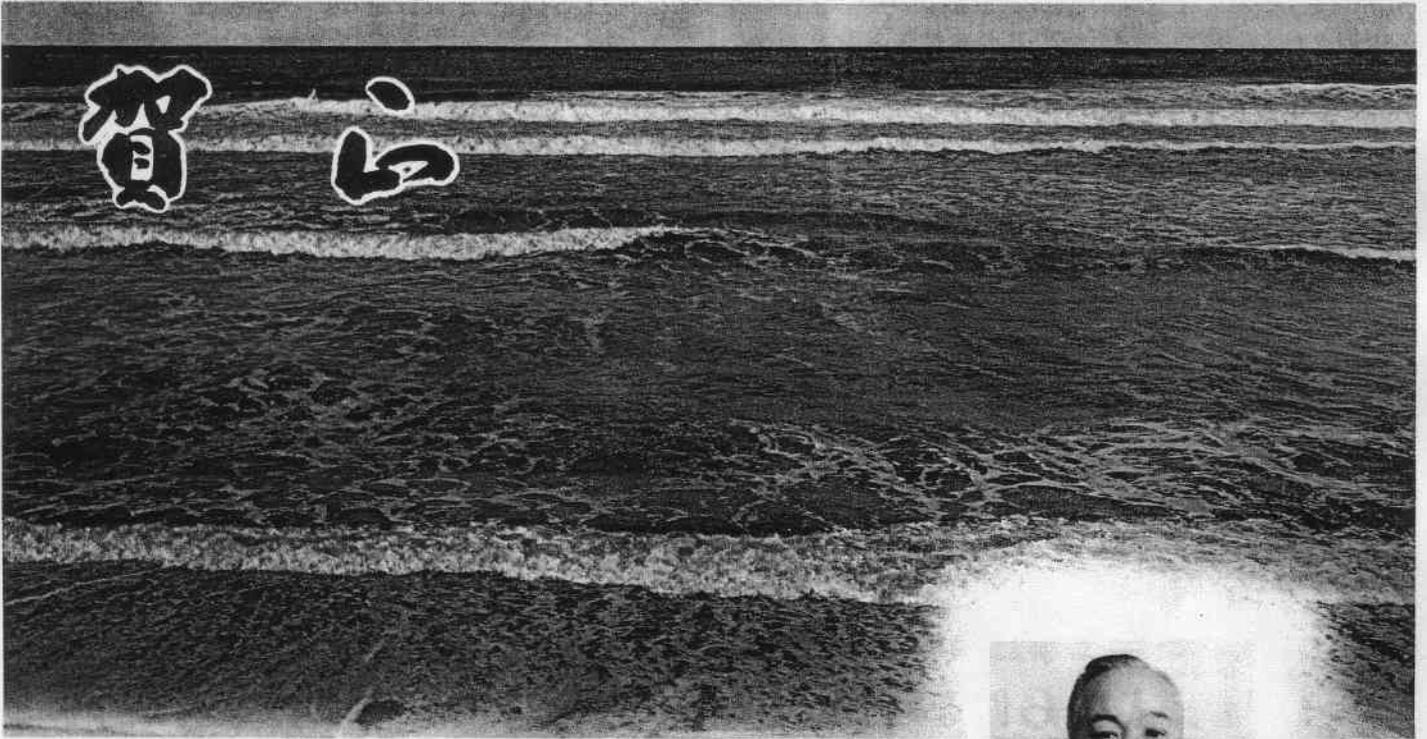


おばま市議会だより

編集・発行

小浜市議会事務局



昭和五十二年の年頭に当たり、心よりおめでとを申し上げますと共に、皆さま方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、今年もより良き年でありませうように

祈念いたすものであります。

願いますれば、昨年は理事者、議会が一体となり、電源三法による交付金や起債、補助金の獲得に全力を注ぎ、長年の懸案事項でありました市民体育館、中央公民館、衛生管理所の増設改築工事が完成をみており、また、近く清掃センター、福祉センターが完成の運びとなっておりま

皆さまと共に

五十二年を

躍進の年に

小浜市議会議長 松井正一

す事は、皆さま方のご協力のたまものであり、心よりご同慶の至りと存する次第であります。古い伝統と文化を誇る本市の将来をますます輝けるものとするためには、自己財源の拡充を図ることが大きな問題であると思

うのであります。そのためには、農業基盤の確立、造林の拡大、育てる漁業への脱皮、既設産業、伝統産業の育成などと相まって北陸新幹線早期

着工、国鉄小浜線、舞鶴線の複線電化、短期大学併設高等学校誘致、観光自動車道路の整備開発など都市化による交通網の整備、それらに伴う都市計画の見直し

が急務であると考えられております。また、人間生活優先のための各種基盤整備として、まず社会福祉施設の整備であります。それには老人福祉施設、児童福祉施設、身体障害者施設の設置、改築があります。次に、教育文化施設の整備、これには老朽校舎の改築、体育施設の整備、地域公民館の改築

があります。対外的には姉妹都市として友好を続けております奈良市、また奈良市と姉妹都市の間柄にあります韓国の慶州市についても親交を深めていきたいと存じております。経済界は昨年に引き続いて本年も不況からの脱出は厳しいものがあろうと思われませんが、市

議会といたしまして、これら諸事業貫徹のため一層の尽力をいたしてまいり所存でありますので市民の皆さまにおかれましては、あたたかご支援ご協力をお願い申し上げます。

そして昭和五十一年をさらに躍進の年とするべく倍旧のご指導、ごへんたつを賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年

希望に満ちた年を迎えます。よい年でありませう。お祈りします。



小浜市議会議長
小浜市議会副議長
小浜市議会議員

松井正一
藤田清志
伊勢謙次
横山政直
岸山正康
藤田与太
辻田与太
今島与太
杉山与太
小川与太
池田与太
池田与太
小川与太
杉山与太
今島与太
辻田与太
藤田与太
岸山正康
横山政直
伊勢謙次
小浜市議会議長
小浜市議会副議長
小浜市議会議員

お多に清
岡本吉治
中山沢至誠
山鼻正昭
木橋幸雄
松崎幸雄
森下謙智
畠中国正二
三谷嘉勝
深谷修二
石橋久二
寺本久二
浜野多嘉
小川多嘉
池田多嘉
池田多嘉
小川多嘉
杉山多嘉
今島多嘉
辻田多嘉
藤田多嘉
岸山多嘉
横山多嘉
伊勢多嘉
藤田多嘉
松井多嘉

一般質問



●発電施設について

二十一世紀に生き残るためにはエネルギー源を電力に求めていかなければならないと考えておりますが、ウラン二三五を使用するところの発電施設については資源の埋蔵量の関係から、あまり多くの期待ができないものと推測されます。

現在二十一世紀のエネルギー源として全世界が注目し、研究を進めておられますが、核融合による発電施設が実用化されればその原料の重水素、三重水素は海水から無限に取れるため、海に面する本市としても今後の研究に注目していかねばならないと考えております。

●市道の舗装について

現在、市が認定をしている路線延長は三五六キロあり、このうち舗装済み延長が一五一・九キロ(舗装率四二・七%)となっております。

●産業の振興について

この問題については、まず既設産業、伝統産業の育成を考えたければなりません。行政がお手伝いできる範囲は限られ、交通網の整備、土地基盤の整備、外港の整備など産業基盤の整備について積極的に取り組むみたいと考えています。

●休日診療について

一昨年十二月から医師会の協力を得て当番医を定め、休日診療を実施しております。

当番医のお問い合わせは市役所及び消防署で応じられるようにしております。

●国定公園内の住宅建設規制問題について

県及び環境庁に対し一部指定解除あるいは規制緩和を要請してまいりたいと考えています。

●市営住宅の建て増しについて

建設省の基準もありますので、現在では、物置き、浴室等に限定して、木造の場合五十坪以内で転居時点での建て増し部分撤去を義務づけ許可をしております。

●第二次農業構造改善事業と余剰労働力、土壌の荒廃対策
二次農構による機械化、あるいは水稲の協業化による余剰労働力を利用しての蔬菜、果物栽培による果物、野菜の出荷を考え、土壌の地方回復については二次農構で計画の畜産団地より排出される厩肥、年間三千トンを水田に還元し土作りを広めてまいりたいと考えています。

●新幹線について

北陸新幹線については、国の第三次全国総合開発計画の中で全国整備五線のうち優先順位第一位に組み入れたい考えです。

●外港について

小浜漁港は県下唯一の第三種漁港であり外港計画では、水産を主とする加工、販売、生鮮食品市場、造船鉄工団地の造成を予定しており、第五次漁港整備計画によって事業を進めておりますが五十二年からは第六次整備計画に組み入れ、これの建設を進めたいと考えています。

●公共下水道について

現在県で策定中の南川、北川、両流域下水道整備計画が今年度完成されるのでこれに適合する本市の計画策定を考えています。

●簡易水道について

水道法によって国県の認可が必要で、補助対象は給水人口二百人、普及率九十%以上が必要となっております。

この問題が解決しても水源確保が必要なことから関係地保の方々とも十分相談して進めたいと考えています。

●雲浜小学校改築について

五十三年末に完成を予定しており、五十四年春から新校舎へ移転できるよう事業を進めてまいりたいと考えています。

●二中の改築について

第二中学校の建築面積は四千八百坪でこのうち補助対象となる危険校舎の指定は一千四百七十坪とわずかであり、財源などの問題から今後議会と十分協議、検討をさせていただきますまいと考えています。

●高校入学の定員について

近年高校進学希望者が増加しておりますし、特に若狭地方には私立高校もないので高校定員増について強力に陳情を続けてまいりたいと考えています。

●福祉センターについて

五十一年予算の柱の一つである福祉の充実の一環として第四保育所の整備充実、また西部地区の集会所を保健所跡に第四保育所と併設して事業を進めてまいりたいもので、地域の皆さんと十分御協議、御指導をいただきながら建設を進めてまいりたいと考えております。

●結婚資金貸付制度について

世帯更生資金の貸し付けの中で九万円、母子世帯の子供に対する結婚資金については十万円を限度に貸し付けを実施しております。

●児童教育について

本市においては保育所が多く幼稚園が少なく、現体制でよいのかどうか専門家の人たちも十分検討、研究をしていく機会を設け方向づけをしたいと思っております。

●伝統産業の育成について

本市には箸、メノウ、漆器、和紙、粘土瓦等数多くの伝統産業が伝承されており、本来若狭メノウが国の伝統工芸品の指定を受けたことでもあり、今後はこういった制度を通じ後継者育成、助成金によってより充実してまいりたいと考えています。

●五十二年地区公民館建設について

地区公民館の建設は校下二にその地区の実情、状況に合わせて古いものから順次建設してまいりたいと考えています。

●小浜駅前の自転車置き場について

収容台数約五十台を目途にして、年度内に建設できるような事業を進めたい。(現在国鉄へ許可申請中で認可次第着工され三月末完成予定です。)

●福祉センターについて

五十一年予算の柱の一つである福祉の充実の一環として第四保育所の整備充実、また西部地区の集会所を保健所跡に第四保育所と併設して事業を進めてまいりたいもので、地域の皆さんと十分御協議、御指導をいただきながら建設を進めてまいりたいと考えております。

●結婚資金貸付制度について

世帯更生資金の貸し付けの中で九万円、母子世帯の子供に対する結婚資金については十万円を限度に貸し付けを実施しております。

●児童教育について

本市においては保育所が多く幼稚園が少なく、現体制でよいのかどうか専門家の人たちも十分検討、研究をしていく機会を設け方向づけをしたいと思っております。

●小浜停車場線について

昭和五十一年度以降の残事業費は、現在の試算で三億四千七百円となっており、県においては、五十一年度で残りの用地を買収、建物転換を解決し、五十二年には工事完了したいと考えてあり、市のほうでもこの線に沿って協力したいと考えています。

●本市の総合開発計画について

本市の総合開発計画については、自治法に基づいて目標年次を昭和五十五年に置き策定されたもので、国においては、国総法に基づく国土総合開発計画、新全国総合開発計画が発表され現在第三次全国総合開発計画が策定中であることから、これが発表された時点において、県の指導を必要とするのではないかと考えています。

●財政対策について

市民生活の安定と福祉向上を願い、市民要望を実現していくための財源確保を目的とする行財政協議協議会の設置を見、本市の財政を協議、研究するとともに財政を分析して政策を協議してまいりたいと思っております。

●市営体育館利用者の駐車場問題について

五号水路に床敷をして約三十坪、市営アールの付近を整備して約六十坪、体育館の前に約三十坪の駐車場ができるようにして体育館を利用される方の駐車場の便をはかつてまいりたいと考えております。

●多田踏切閉鎖に伴う通学路の確保について

県の工事で、湯岡地係の国道二十七号線の下を掘きして自転車、歩行者専用道路をつくり多田踏切閉鎖に伴い通学路を確保していくもので、すでに工事も始まっており五十二年中に完成したいということをお願いするから聞いております。

●市道外道路の舗装について

市道に準ずる路線については舗装を今後検討してまいりたいと考えております。

●市民生活の安定と福祉向上を願う

市民生活の安定と福祉向上を願い、市民要望を実現していくための財源確保を目的とする行財政協議協議会の設置を見、本市の財政を協議、研究するとともに財政を分析して政策を協議してまいりたいと思っております。

●将来の街づくりについて

本市の将来の街づくりは新幹線若狭駅(仮称)の実現、小鶴線の早期実現、国道整備等により京阪神、中京対日本海へのつながりを深め、これらと本市に数多くある文化財と調和のとれた個性のある街づくりを進めてまいりたいと考えております。

●財政対策について

市民生活の安定と福祉向上を願い、市民要望を実現していくための財源確保を目的とする行財政協議協議会の設置を見、本市の財政を協議、研究するとともに財政を分析して政策を協議してまいりたいと思っております。

●市営体育館利用者の駐車場問題について

五号水路に床敷をして約三十坪、市営アールの付近を整備して約六十坪、体育館の前に約三十坪の駐車場ができるようにして体育館を利用される方の駐車場の便をはかつてまいりたいと考えております。

●多田踏切閉鎖に伴う通学路の確保について

県の工事で、湯岡地係の国道二十七号線の下を掘きして自転車、歩行者専用道路をつくり多田踏切閉鎖に伴い通学路を確保していくもので、すでに工事も始まっており五十二年中に完成したいということをお願いするから聞いております。

●市道外道路の舗装について

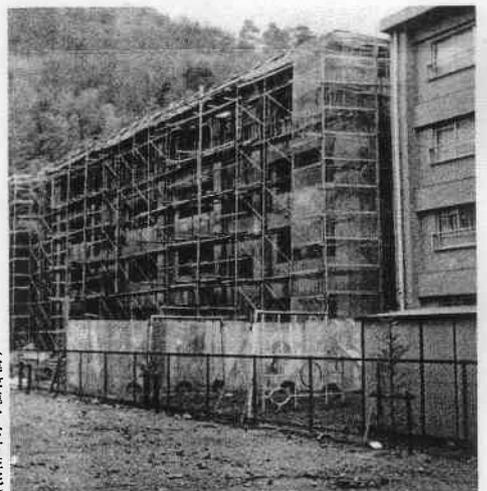
市道に準ずる路線については舗装を今後検討してまいりたいと考えております。

●市民生活の安定と福祉向上を願う

市民生活の安定と福祉向上を願い、市民要望を実現していくための財源確保を目的とする行財政協議協議会の設置を見、本市の財政を協議、研究するとともに財政を分析して政策を協議してまいりたいと思っております。

●公民館を利用した図書館活動について

以前から地区公民館を拠点として青少年の教育環境を整備するとともに読書活動を積極的に



(建設進む公営住宅)

続けてきており、今後も改築していく公民館を利用した公民館活動を取り入れてまいりたいと考えています。

●五十二年の公営住宅建設計画について

五十二年は雇用促進住宅の建設を関係機関に強力に働きかけており、これが建設されるものと思われたい。もし建設されないということになれば公営住宅の建設を考えてまいりたいと思っております。

●小浜漁港、船だまり場の廃船について

雲浜小学校敷地造成に伴い多くの市民の皆さんから親しまれてきた雲浜の浜での海水浴ができなくなり、市街地の海水浴場をという市民からの強い要望もありロッジ横に人工砂浜の造成を行ない好評を博しましたので五十二年も引き続き造成事業を実施してまいりたいと考えております。

●市指定の水道業者増加について

水道工事指定業者を増していく問題については積極的に考えてまいりたいと思っております。

●市行造林について

市行造林の適地、適木について

五十二年は市税、交付税とも大きな伸びは期待できませんが、財源の確保については創意工夫をして予算を編成してまいりたいと思っております。

●五十二年度予算について

五十二年は市税、交付税とも大きな伸びは期待できませんが、財源の確保については創意工夫をして予算を編成してまいりたいと思っております。

●小浜漁港、船だまり場の廃船について

雲浜小学校敷地造成に伴い多くの市民の皆さんから親しまれてきた雲浜の浜での海水浴ができなくなり、市街地の海水浴場をという市民からの強い要望もありロッジ横に人工砂浜の造成を行ない好評を博しましたので五十二年も引き続き造成事業を実施してまいりたいと考えております。

●市指定の水道業者増加について

水道工事指定業者を増していく問題については積極的に考えてまいりたいと思っております。

●市行造林について

市行造林の適地、適木について